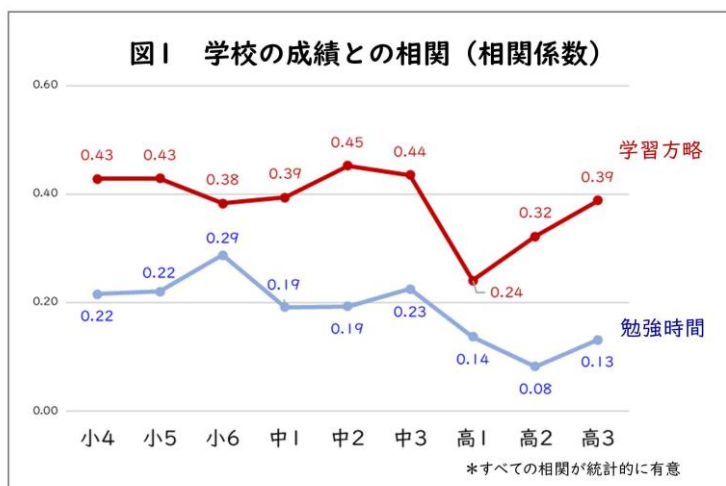




暑い時期も終わり、やっと秋を感じる季節となりました。来週からは2学期末考査が始まります。今までの反省を生かして計画を立てていますか？今回は、『学習方略（勉強方法）と成績の相関』と『学習時間の確保』についてお伝えしたいと思います。

～学習方略とは～

学習効果を高めることを意識した勉強の仕方や工夫のことを、「**学習方略**」といいます。たとえば、勉強に向かう意欲を高めたり、より効率的に覚えられるように工夫したり、計画を立てて進み具合をチェックしながら勉強したりといった行動は、**勉強の質**を高めます。その方法を身につけるためには、どんなやり方が自分に合っているかを考え、工夫することがとても重要です。計画どおりにできているかを確認し、計画や勉強のやり方を調整するなどして、テスト当日までの時間を管理できると、勉強の効果は高まります。図1に示すように、学習方略は勉強時間の長さよりも成績に強い影響を及ぼしていて、それを身につけている子どもほど学校の**成績が高い傾向**があります。【ベネッセ・木村治生さん学習方略が成績に影響するより】



東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2023年

～学習時間の確保について～

始めに、第2回宅習時間調査（普通科）の結果を見てみましょう。単位は【時間】

	平日平均	土日平均	部活	週合計	国語	数学	英語	地・公	理科	商工農	家芸保	携帯使用
1年生	1.9	3.6	3.9	16.9	3.9	3.9	3.3	3.7	2.2	0.6	0.1	14.9
2年生	2.2	4.1	3.1	19.2	4.1	4.7	3.9	3.1	3.2	0	0.2	14.2
3年生	2.4	4.7	0.1	21.2	3.3	6.5	5.0	3.3	3.9	0	0	12.7

6月に実施した学習時間調査よりも全学年、学習時間が減少しています。上記で説明した**学習方略を意識すること**と同時に**学習時間を確保する工夫**も大切です。

推薦入試等では『評定平均4.0以上』などの条件を課す学校も少なくありません。これは、『各教科の評定を平均して4.0以上の人が受験可能です』という意味を表しています。すなわち、学校の勉強を一生懸命に取り組んでくださいと解釈することもできます。

普通科・生物生産科・電気科を問わず、**将来の選択肢を増やす**うえで、学習時間の確保は**必要不可欠**です。高校生活はあっという間です。携帯電話の使用時間を少しずつ減らし、自分の進路を切り開く準備をしていきましょう。

～進学を目指す皆さんへ～

高校1年生

高校生活が始まり、まだまだ進学について具体的に考え始めていないかもしれませんが、早めに準備を始めることが大切です。まずは、基礎学力をしっかりと身につけるために、日々の授業に真剣に取り組みましょう。

基礎学力の確立

- ・授業の復習：毎日の授業内容をその日のうちに復習することで、理解を深めることができます。
- ・定期テスト・模試への対策：テストに向けた勉強計画を立て、計画的に学習を進めましょう。

興味・関心の発見

- ・部活動やボランティア：さまざまな活動に参加することで、自分の興味や関心を広げよう。
- ・読書：幅広いジャンルの本を読むことで、視野を広げることができます。

高校2年生

高校2年生になると、進路について具体的に考え始める時期です。この時期には、将来の目標に向けて計画的に行動することが重要です。

自己分析と進路調査

- ・自己分析：自分の得意なことや興味のあることをリストアップし、将来の進路に結びつけましょう。
- ・進路調査：興味のある分野や職業について調べ、必要な学びや資格を確認しましょう。

オープンキャンパスへの参加

- ・大学訪問：実際のキャンパスを訪れることで、大学の雰囲気や学びの内容を体感できます。
- ・学部・学科説明会：各学部や学科の説明会に参加し、自分に合った学びを見つけましょう。

高校3年生

これから大学受験を控えている人、進学・就職先が決定した人と個々によって現状は異なることと思います。進学・就職先でも勉強することに終わりはありません。これから残された期間を一生懸命に取り組んでほしいです。

- ・希望する大学等への計画と対策：推薦型選抜試験や大学入学共通テストが近づいてきました。残りの時間を効果的にするためにも計画を立てて取り組みましょう。
- ・進学先からの課題等への取り組み：専門学校等においては、進路決定者に課題を課すところがあります。入学前に基礎・基本的な学力を定着させておくことで、来年の4月からスタートダッシュができます。
- ・資格試験取得への挑戦：『資格は一生もの』という言葉もあるように、様々な資格取得を目指して、自身のスキルアップを図りましょう。

